

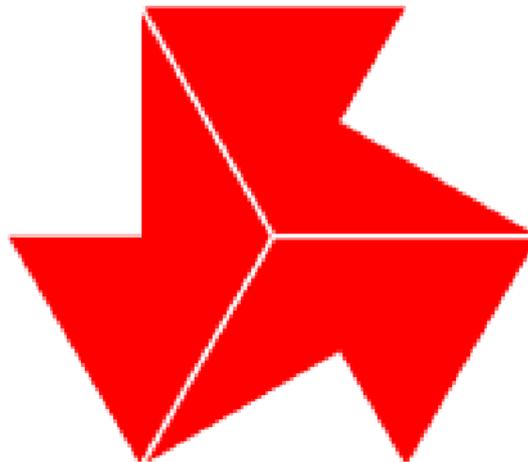
令和6年度 北信越高等学校総合体育大会

第56回 北信越高等学校自転車競技選手権大会

第7回 北信越高等学校女子自転車競技選手権大会

兼 第69回 全国高等学校自転車競技選手権大会予選会

テクニカルガイド・監督会議資料



01 会場

- (1) 開会式 弥彦競輪場 インフィールド（雨天時：弥彦競輪場管理棟2階 選手休養室）
- (2) トラック競技 弥彦競輪場
〒959-0323 新潟県西蒲原郡弥彦村大字弥彦 2621 番地
TEL0256-94-2066
- (3) ロード競技 日本海間瀬サーキット（左回り） 2km/1周
〒953-0105 新潟県新潟市西蒲区間瀬 610
TEL0257-65-2040
- (4) 閉会式 弥彦けいりん会館 1階 食堂

02 ライセンスコントロール（受付）

(1) 選手・監督受付

日時：令和6年6月7日（金）10：30～12：30

場所：弥彦競輪場 管理棟1階 大会本部

- ア 各学校の監督は上記の時間帯・場所に選手の競技者ライセンス（データ可）を持参し提出すること。
- イ 個人医療情報、選手変更・欠場申請書、引率責任者・監督変更申請書、プログラム記載事項訂正申請書を選手受付時に提出すること。また、大会期間中に欠場が生じる場合は、速やかに大会本部総務委員長に提出すること。
- ウ 身体形態上の理由による適用免除の事前申請はしなくてよい。
- エ ロード競技のみに出場する学校も、原則として選手受付・監督会議に出席すること。

(2) 配布物

- ア ゼッケン（ゼッケンはトラック、ロード共通とする）
男子 黒文字×白生地
女子 赤文字×白生地
- イ ヘルメットシール
男子 黒文字×白生地
女子 赤文字×白生地

03 監督会議

日時：令和6年6月7日（金）13：00～

場所：弥彦競輪場 管理棟2階 選手休養室

その他：各校1名の参加を必須とする

04 開会式

日時：令和6年6月7日（金）14：00～

場所：インフィールド（雨天時：弥彦競輪場 管理棟2階 選手休養室）

その他：出場する選手は参加すること

05 表彰式

(1) トラック競技

日時：令和6年6月9日（日）14：00～（予定）

場所：弥彦競輪場 メインスタンド

集合：表彰対象者（各種目1位～3位）はメインスタンド付近に待機しておくこと。

服装：登録されたジャージとする。

式典にふさわしい容姿で参加すること。（サンダル、サングラスの着用禁止）

待機している間はトレーニングウェアの着用を認める。

(2) ロード競技

日時：令和6年6月10日（月） 選考会議終了後

場所：弥彦けいりん会館 食堂

集合：閉会式で総合表彰式と併せて行う。

服装：各校で統一されたウェア、都道府県又は学校統一のものとする。

式典にふさわしい容姿で参加すること。（サンダル、サングラスの着用禁止）

06 閉会式

日時：令和6年6月10日（月） 選考会議終了後

場所：弥彦けいりん会館 食堂

集合：閉会式で総合表彰式と併せて行う。

服装：各校で統一されたウェア、都道府県又は学校統一のものとする。

式典にふさわしい容姿で参加すること。（サンダル、サングラスの着用禁止）

07 会場使用について

(1)トラック競技会場

ア 立入禁止区域には絶対に入らないこと。

イ 選手ピットは県ごとにエリア分けをしているのでお互いに譲り合って使用すること。自転車、荷物等が通行の妨げにならないよう、通路を確保すること。指定された場所以外にテント等を設置することは禁止する。

ウ 競輪場内の電源の使用は厳禁とする。コンプレッサー使用時等に充電式発電機を使用することは認める。

エ 女子の更衣スペースについては会場図を参照すること。

オ 競輪場内に貼り出す横断幕等は受付時に案内する。2コーナーから敢闘門までのフェンス内側とする予定。

カ レーサーシューズを履いての走路の横断を禁止する。

キ 自転車保管庫は検車場とするが自己責任で管理すること。

6月7日～9日まで17時には保管庫および管理棟を施錠する。

ク 機材紛失等のトラブルについて大会本部では責任を負わない。

ケ 開門時間は以下のとおりとする。

7日（金）8：00～

8日（土）7：00～

9日（日）7：00～

※10日（月）は終日、競輪場に入ることはできない。

コ ローラー室のローラー台のみ使用可とする。検車場（自転車保管庫）のローラーは使用不可とする。

サ 競輪場外発売をしているので一般客とトラブルを起こさないように留意する。

(2) ロード競技

ア コース試走は当日のみとする。宿舎と競技会場間の移動及びロード練習では、交通規則を遵守し、ヘルメットの着用を義務づける。

イ 試走、レース中にかかわらず指定区間以外でのゴミの投げ捨ては厳禁とする。

- ウ 荷物の保管場所は指定しないので各校の責任で保管すること。
- エ 機材紛失等のトラブルについて大会本部では責任を負わない。
- オ 入場ゲートのオープン時間は7：00とする。

08 駐車場について

(1) トラック競技会場



- ア 各チームは一般駐車場、または弥彦けいりん会館に駐車し、機材を降ろすこと。
- イ 駐車場は一般の方も利用するので積み下ろしの際、通行の妨げにならないように注意すること。
- ウ チームピットは競輪場4コーナー側スタンドとなるので、県単位で利用すること。

(2) ロード競技会場

- 日本海間瀬サーキット地下通路横の駐車スペースとする。
- スペースに限りがあるので奥の一般駐車場を利用してもよい。

09 トラック競技自由練習について

- (1) 大会期間中の弥彦競輪場自由時間は以下のとおりとする。

日	時間	割り当て
6月7日(金)	10:00~12:50	フリー練習

- (2) 練習の際は、監督またはチームサポートが選手とともに入場すること。
- (3) 練習の際の入場はバック側取闘門、退場は取闘門脇の通路とする。
- (4) フリー練習の際、入場を制限する場合がある。
- (5) フリー練習の際、会場設営のため、一時的に練習を中断する場合がある。
- (6) 男女混成での練習となるので十分配慮すること。
- (7) 練習中の接触・落車等による機材の破損については、レース中の事故と同じ扱いとし、全て自己責任とする。

(1) 宿舎での注意事項

- ア 各部屋の施錠はできないので貴重品の管理は各校の責任をもつこと。
- イ 宿舎内の備品・器物の破損や紛失がないよう十分注意すること。
- ウ 宿舎内はレーザーシューズでの歩行を禁止する。
- エ 宿舎内での自転車整備や、自転車の持ち込み・保管は禁止する。
- オ 食事（バイキング形式）の時間は以下のとおりとする。

日／食事		時間	割り振り
7日	夕食	18:00～	福井・富山
		18:30～	長野・石川
		18:00～	引率・役員
8日	朝食	6:30～	TP 出場チーム
		6:45～	TP 未出場チーム
	夕食	18:00～	長野・石川
		18:30～	福井・富山
		18:00～	引率・役員
9日	朝食	6:30～	TS 出場チーム
		6:45～	TS 未出場チーム
	夕食	18:00～	福井・富山
		18:30～	長野・石川
		18:00～	引率・役員
10日	朝食	6:30～	RR 出場選手・引率・役員
		6:45～	上記以外

※食堂の閉鎖時間は20:00とする。

※アレルギーに注意をして食事を摂るようにすること。

- カ 入浴の時間は選手16:00～21:00、引率16:00～22:00とする。
- キ 風呂のシャンプー、ボディソープ以外のアメニティ類の準備はないので各自で準備すること。
- ク 洗濯機、乾燥機を利用することはできる。譲り合って利用すること。なお洗剤等は各自で準備すること。（洗濯・乾燥が終わって長時間放置しないようにすること。）
- ケ 各部屋で出たゴミは、可燃ゴミは毎朝各部屋のドアの前に出すこと。
ペットボトル、カン、ビンについては施設設置のゴミ箱に毎朝、出発前に出すこと。
- コ 10日朝に個人の荷物を残す場合は1階ロビーの指定された場所にまとめておくこと。
- サ 10日ロード・レース終了後、12:00～14:00はシャワーのみ使用することができる。
- シ 期間中、各部屋の清掃は入らないので各自で整理して使用すること。

(2) 弁当について

- ア 弁当は8日、9日は競輪場にて配付し、10日はけいりん会館で配付する。
- イ 弁当の空き容器の回収は配付場所にて14時までとする。
- ウ 弁当のキャンセルおよび追加注文をする場合、6月5日（水）12時までに総務委員長に連絡すること。

11 医療機関

- (1) 事故等により医療機関へ行く場合は「健康保険証」を持参し、関係者が同行すること。
- (2) 宿舎での傷病については、受診後に必ず総務委員長まで連絡すること。

12 荷物輸送について

- (1) 競技会場（トラック・ロード会場共）での荷物の受け取り、保管等は一切行わない。
※会場で受取希望の際は、各校にて時間指定で荷受けすること。

13 問い合わせ先

- (1) 本大会に関する情報・連絡事項は「新潟県自転車競技連盟 HP」および Instagram で確認すること。
- (2) 大会本部 総務委員長 箕輪 郁哉（090-1932-3253）

競技運営・確認事項・大会特別規則

01 競技運営

(1) 競技規則

（公財）日本自転車競技連盟競技規則2024年度版および大会特別規則に則り競技を実施する。

(2) 主要競技役員

総務委員長 : 箕輪 郁哉

競技運営委委員長 : 圓谷 崇

審判長 : 権瓶 修也

コミッセルパネル : 小柳 勝 前川 亮二 星野 真史（トラック・ロード共通）

02 大会特別規則（および競技運営委確認事項）

(1) 記録の配信

ア スタートリスト、リザルト等のコミュニケは記録速報板に掲示するので配布しない。

イ 全てのコミュニケおよびリザルトは HP および Instagram で配信する。

・ URL 「 <http://niigatasyaren.com/> 」

《 HP 》



《 Instagram 》



@NIIGATASYAREN

(2) ヘルメット

ア 選手は JCF 公認および JKA 認定（競輪用）ヘルメットを練習時も含めて使用すること。公認シールが貼付されていないヘルメット、劣化・破損が確認されるヘルメットの使用は認めない。

イ あごひもが緩んでいる状態での使用は認めない。（装着時にあごとあごひもの間隔は指二本程度まで）

ウ JCF 公認条件に「タイムトライアル系の競技においてのみ使用できる物」と注釈がついている製品は下記の種目の競技時のみ使用を認める。

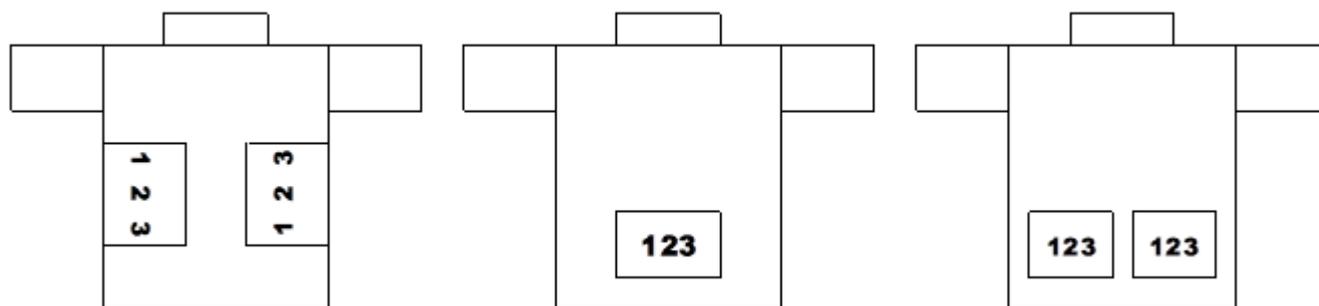
- ①スプリント予選（200mタイムトライアル）
- ②男女タイムトライアル
- ③男女インディヴィデュアル・パーシュート
- ④チーム・スプリント
- ⑤チーム・パーシュート

(3) ヘルメットカバー

- ア トラックレースのケイリン、スクラッチ、4km速度競走、ポイント・レースで使用するのでヘルメットカバーを装着することができるヘルメットを準備すること。
- イ 上記種目については、マグネット等で装着するシールドの使用は脱落防止のため禁止する。
- ウ ヘルメットカバーの配付は招集所で行う。回収についてはバック側退場口付近に回収かごを設置する。

(4) ボディ・ナンバー（ゼッケン）装着方法

- ア 男女タイムトライアル、男女インディヴィデュアル・パーシュート、チーム・スプリント、チーム・パーシュートについては1枚でもよい。1枚の場合は腰部中央に取り付ける。それ以外の種目については5cm程度の間隔を空け、後方から読み取れる状態で2枚腰部に取り付けること。
- イ ゼッケンは折り曲げたり、切ったりしてはならない。
- ウ ロードレースでは男女ともヘルメット左右の側面に番号シールを装着する。



(5) 映像記録装置

装着を認めない

(6) 靴下とオーバーシューズ

競技中に使用する靴下とオーバーシューズは、踝の中心と腓骨頭中心の間の半分の距離によって定義された高さ以上に及んではならない。

(7) アームウォーマーおよびニーウォーマー

身体保護のため気象条件により着用を認める場合があるが、所属チーム名または製造メーカー名以外の表示がある場合は使用できない場合があるので注意すること。

(8) ユニフォーム

- ア 登録されたチーム（学校）のユニフォームを着用する。
（新入生等、準備が間に合わない場合は旧型のユニフォームを着用するか、無地のウェアを着用する。いずれにおいても監督会議での承認を得ること。）
- イ 団体種目に出場する際のユニフォームは統一されたもので出場することを原則とする。
（間に合わない場合、該当選手は（8）アに準ずる）

03 トラック・レース

(1) 禁止事項

- ア 走路保護のため、チェーンオイルの過度な塗布、アップオイル等を体に塗ることおよびレーザーシューズでの走路の歩行を禁止する。
- イ 指定されたエリア以外での選手ピット設営は禁止する。
- ウ 競走種目における競技中のハンドルの持ち替えは単独で走行している場合にのみ許容する。

(2) 走路入退場方法 (選手・監督等)

フィールドへの入退場はバック側敢闘門からとする。

(3) 招集・自転車検査

ア 招集・自転車検査所はバック側入場口付近に設置し、出走および装備の確認、並びに自転車検査を実施する。

イ 招集および自転車検査は各自の出走予定時刻の15分前までに完了させること。

ウ 団体種目は8:10(競技開始50分前)までに、招集場所にて出走メンバーを報告すること。15分前までの招集では、チームメンバー全員がそろって受けること。

エ U17カテゴリーに該当する選手のギア比の推奨値は適用しない。

オ 招集エリアからピット側に出た自転車は再入場時であっても自転車検査の対象となる。

カ 代車を準備する際には、代車も検車を通らなければならない。

キ 競技終了後、指示を受けた競技者は自転車サイズおよび装備(靴下長含む)のチェックを受けること。

(4) スタートについて

ア スタートに間に合わない場合、出走することができない。

イ 発送機(スターティング・マシーン)使用種目

男女タイムトライアル、男女インディヴィデュアル・パーシュート、チーム・スプリント、チーム・パーシュートで発送機を使用する。

ウ 発送機を使用する種目のスタートはいずれも単独走とする。

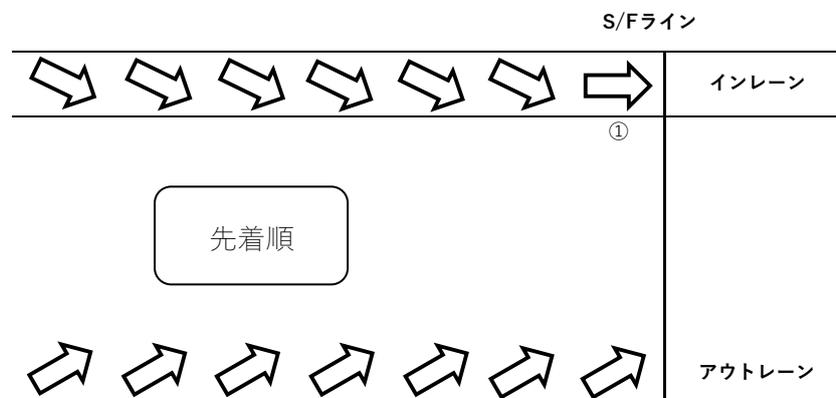
エ カウントダウンはセット完了後20秒とする。

オ ホルダー

発送機を使用しない種目は4km速度競走を除き各チームのスタッフがホルダーを務める。その際、選手が有利になることを目的として前方に押し出さないこと。

カ ポイント・レースおよびスクラッチ

スタート位置は下図を参考にする。選手は安全地帯で乗車し、インレーンの選手は各チームのホルダーに支えられた状態で、アウトレーンの選手は金網を利用することとし、発送員の指示により先着順でスタート位置につく。ヘルメットカバー奇数の選手がインレーン、偶数の選手がアウトレーンとし、ヘルメットカバーが1番の選手はインレーン先頭からスタートする。1周回の競技外周回の後、ピストルの合図で正式スタートとする。



(5) タイムトライアル、インディヴィデュアル・パーシュートおよび団体種目

ア 完走タイムによる決勝レースとする。

イ チーム、または競技者は2回のみスタートが認められる。1回の再スタートが不正スタートの結果としてまたは事故時に認められる。

- ウ 男子タイムトライアル、男子インディヴィデュアル・パーシュートはB側スタートとし、それ以外はH側スタートとする。
- (6) ケイリン
- ア ペーサーはオートバイで行い、スタート時は30km/h、フィニッシュ2周前(800m)のホーム計測線を過ぎてトラックを離れるまでに、徐々に50km/hまで加速する。
- イ 一人または複数の競技者が、ペーサーがトラックを離れる前にペーサーの前輪前端を追い抜いた場合、競技を停止し失格とされた違反競技者を除外して再スタートとする。
- ウ 予選の結果により各組上位4名が2回戦に進出し、2回戦では各組上位3名が決勝戦へ、各組下位3名が7~12位決定戦へ進出する。敗者復活戦は実施しない。
- (7) ポイント・レース
- ア ポイント・レース決勝の距離は24km(60周)で実施する。
- イ 認められる事故の場合は、ニュートラリゼーション3周以内を認める。最後の1kmまでに復帰できなかった競技者は事故前の成績を与える。
- (8) スクラッチ
- ア スクラッチ決勝の距離は8km(20周)。
- イ ニュートラリゼーションは3周以内を認める。最後の1kmを過ぎてからは、トラックに戻ることはできない。この場合、競技者は完走扱いとはならない。
- (9) 4km速度競走
- ア 11名での決勝レースとする。
- イ 責任回数はH、B、各1本の計2本とする。
- (10) スプリント
- ア 予選はホーム側よりスタートし、2周で行う。
- イ 予選の結果により8名が1/4決勝に進出する。
- ウ 1/4決勝までは1回戦制とし、1/2決勝より2回戦制とする。
- (11) フィールド内での指示
- ア インディヴィデュアル・パーシュートとチーム・パーシュートについてはスタートライン付近に1名のみ認める。
- イ ポイント・レース、スクラッチ、4km速度競走についてはバック側インフィールド内の指定場所においていずれも選手1名につき1名を認める。その際ビブスを着用する事。
- (12) その他
- ア 番組や距離等の変更の場合には、監督会議にて提案し、承認の上、決定する。当日において、やむを得ない事情によりプログラム等の変更を要する場合は、場内アナウンスとコミュニケにより事前に連絡をする。
- イ コーナーラバーパッドについては1コーナーから2コーナーまで、3コーナーから4コーナーまで設置する。
- ウ 1周回につき60.0cmの周長補正を行う。
- エ スプリント順位決定戦時のみインフィールド内にローラー台を用いてのクールダウンを認める。

04 ロード・レース

(1) 予備登録選手への変更

- ア 日時：6月10日(月)
- 女子 8:00~8:45
- 男子 9:10~9:45
- イ 場所：招集所(変更が確定した時点で予め総務委員長まで連絡すること)

(2) 招集（自転車検査、サインシート）

ア 日時：6月10日(月)

女子 8：00～8：45

男子 9：10～9：45

イ 場所：招集所（変更が確定した時点で予め総務委員長まで連絡すること）

ウ 要領：出走する選手本人が、自転車検査を受け、スタートシートへサインすること。

装備の不備、違反等はレース終了後であってもペナルティの対象となるので各自の責任でレースに臨むこと。

代車を使用する場合は代車も検査を受けること。

(3) ギア比

U17カテゴリーに該当する選手のギア比の推奨値は適用しない。

(4) 試走時間およびスタート時刻

男女試走 8：00～8：45

女子スタート 9：00

男子スタート 10：00

指定された時間以外での試走は認めない。

招集を済ませた選手はスタート10分前までにスタートラインに集合すること。

※コース左回りに変更する。

(5) スタート位置

各県代表者を最前列に、それ以降、各県縦2列で位置する。

↑ 進行方向 ↑

福井県代表	石川県代表	富山県代表	新潟県代表	長野県代表
福井県選手	石川県選手	富山県選手	新潟県選手	長野県選手

(6) 距離およびスタート方式

スタートはローリングスタートとし、バックストレッチに入り、隊列が整ったことが確認されてリアルスタートをする。

女子 2.0km×10周回（20km） 男子 2.0km×25周回（50km）

※大会運営に支障をきたす場合、距離を短縮することもある。

(7) 補給所

ア 補給は男子のみ認め、残周回表示15周から残周回表示5周を見るまでとする。

イ スタート地点を過ぎた第1コーナーの右側のみを補給所とする。補給所の範囲はカラーコーンで明示する。

ウ 補給員の数は各校の参加人数とする。

エ リッターゾーン（投棄エリア）は補給所に含まれる。リッターゾーン以外での投棄は厳禁とする。

オ スタート・フィニッシュ地点右側に機材補給所を設置し、範囲をカラーコーンで明示する。

カ いずれの補給を受ける際も逆走は認めない。

(8) 機材サポート

ア ニュートラルバイクを主催者で1台準備し、前後輪それぞれ2本ずつ積載する。

※後輪の種類については監督会議にて連絡する。

イ 提供を受けた機材は、フィニッシュ後、直ちに大会本部にて各自の車輪と交換すること。

(9) ニュートラリゼーション

ア 落車やパンク、機材の破損などの認められる事故が発生した場合、該当選手には1周回のニュートラリゼーションが認められる。

イ 残り3周回を過ぎてからの事故についてはニュートラリゼーションが認められない（認められる事故による機材の交換は認められる）。

(10) タイムアウト

ア 関門所：フィニッシュ地点手前に関門所を設置する。

イ 運用：フィニッシュ地点において8位選手を含む集団より、2分程度遅れた選手はDNFとする。

コース上においても移動審判からDNFを宣告することがある。

最終順位は獲得周回数を考慮に入れ、最終着順によって決定する。

(11) その他

ア ロード・レースの正選手が何らかの理由でロード・レースに出場することができなくなった場合、ロード・レースにエントリーしていないトラック・レースの正選手を予備選手として起用することができる。

イ 選手控え所、および駐車場については下図のとおりに譲り合って利用すること。

ウ 観客は下図のとおりに指定された場所でのみ観戦すること。

エ 下図の【注意】表示箇所には路面クラックがあり、コース内中央にクッションドラムが設置されているため、十分に注意して走行すること。

